

シッケンズ木材保護塗料 よくある質問&回答リスト

よくある質問

回答

Q. 1 耐候年数を教えてください。

A: 諸条件(方角、立地条件、庇の大きさ)によって大きく異なりますが、外壁などで目安はHLSeで3年程度、Filter7プラスで5年程度がメーカー推奨の再塗装時期の目安です。

Q. 2 紫外線に強い塗料はありますか？

A: シッケンズは粒子の細かい高品質顔料を使用しており、紫外線対策は万全です。
特にFilter7プラスとセトールデッキ(セトールデッキプラス)は、厚めの塗膜形成により高耐久性です。
塗膜が厚い分、より紫外線対策効果も発揮します。「クリアー色」は着色と比較すると
耐候性は低下する傾向があり、反対に色が濃いほど紫外線に強くなります。

Q. 3 一番耐候性のある「クリアー」タイプの商品はどれですか？

A: 屋外用製品のクリアー色で一番耐久性の高いのは「Filter7プラス」です。次いで「TGL」です。
TGLプラスの方がTGLサティンよりやや耐候性があります。
HLSeは浸透系のため、クリアー色として上記製品と比較すると耐候性は劣ります。

Q. 4 防腐防カビ剤入りの塗料はどれですか？

A: 屋外用塗料には、全て「防腐防カビ剤」を配合しており薬剤に「防虫効果」も付与しています。
屋内用製品には防腐防カビ剤は配合していません。

Q. 5 「防水効果」のある塗料はありますか？

A: 基本的にすべての製品が撥水効果を持っています。木材は特に木口から吸水するため塗膜でシールするような対策は有効です。その点でFilter7プラスやセトールデッキなど造膜するタイプは撥水効果も高いです。

Q. 6 木材以外に塗装できますか？

A: 基本的に木材への塗装を目的としております。製材品のほか合板や突板など木質部材は塗装可能です。
ウッドデッキで使われる素材の再生木材(合成木材)などでも一部使用実績はあります。(要ご確認)

Q. 7 JIS規格などありますか？

A: JIS規格はございません。木材保護塗料の品質規格で日本建築学会規定の「JASSI8 M-307」があります。
WP(木材保護塗料塗り)の指定に対して「JASSI8 M-307」認定品が使えます。(HLSe、Filter7プラス)

Q. 8 ローラーで塗装可能ですか？ 吹き付け塗装可能ですか？ おすすめの刷毛はありますか？

A: 基本は刷毛塗りです。刷毛は化繊タイプが推奨です(大塚刷毛のひよこなど)。
HLSeとBLXpro以外の屋外用製品は獣毛刷毛も使用できますが、化繊タイプの腰のあるもの
でも弱溶剤系は対応可能ですので、化繊タイプもOKです。
吹付塗装はできませんがローラーで塗装する場合は、特別推奨の銘柄はございませんが、
短毛のマイクロファイバーのタイプが良いかと思われます。ダレや塗り付けすぎに注意してください。

Q. 9 防火仕様の塗料はありますか？

A: ございません。

Q. 10 改修塗装(メンテナンス)をしたいが、古い塗膜が残っている。どうしたらいいですか？

A: 旧塗装の種類によりますが、基本的に油性のステイン系(キシラデコールなど)であれば、
軽くサンドペーパーをかけて上から塗装できます。ペンキやウレタンのような塗膜が形成されている場合は、
一度除去しないと塗装が定着しにくいです。可能であれば、事前にお試し塗装を頂ければ有難く存じます。

Q. 11 改修塗装(メンテナンス)の場合、何回塗りすれば良いですか？

A: 基本的に2回塗りが標準です。傷んでいる状況によりですが、必要に応じて劣化損傷が激しい箇所にタッチアップ下塗り(その後全体を1~2回)としたり、劣化していない箇所は1回でもOKです。

Q. 12 「フィルター7プラス」は下塗り無しで使えますか？

A: 新規塗装では通常Filter7プラスの下塗りに「HLSe」を使いますが、状況に応じて下塗りのHLSeを省略することも可能です。新規塗装(新しい木材)はFilter7プラスを密着させるため、浸透力の高いHLSeで下塗りして密着を良くさせます。また深く防腐防カビ効果も付与させることになります。しかしながら、新規塗装でもコストの関係等でHLSeを省略されたいご希望がございましたが、特にすぐに悪影響することはありませんので、状況に応じてご検討ください。尚、メンテナンスはFilter7プラスのみでOKです。

Q. 13 旧タイプ(HLS/F7など)のメンテナンスをしたい。どの商品を選べば良いですか？

A: 旧タイプ品に関して、「HLS」は、現状のHLSeよりもやや塗膜がある仕上がりでした。HLSのメンテナンスにはHLSeも使えますが、Filter7プラスもオススメです。半透明塗膜が木目を生かします。仕上がりは吸HLSに近いイメージです。尚、旧タイプFilter7の再塗装にはFilter7プラスを推奨します。

Q. 14 シッケンズ塗料は混ぜて使えますか？

A: 同じ製品同士であれば混合可能です。異なる製品(例:HLSeとFilter7プラスなど)は混合できません。セトールTGLの「サティン」と「プラス」も混合は推奨できません。

Q. 15 「防腐処理」した下地の上に塗装できますか？

A: 特に問題なく塗装は出来ませんが、防腐剤の薬剤の色で塗料の発色が出にくいなどの場合があります。薬剤の種類によってマチマチです。含水率が高い場合が多いので良く乾燥させて塗装します。

Q. 16 塗装後、時間が経つと表面が白っぽく変色してしまった。どうしたらいいですか？

A: 白っぽく濁った感じになっている場合は”かぶり”という、塗装の内側に水分があり表面が乾燥して抜けなくなってしまった時に起こります。雨天の後や含水率が高いなどの要因の場合が多いです。基本的には濁りが出ている箇所まで研磨して、良く乾燥させてから再度塗装します。

Q. 17 セランガンバツ(硬い木部)に塗れますか？ ウリン・イペ材に塗れますか？

A: 塗装可能です。但し、木材の密度が高く、塗料が浸透しにくい傾向があるため塗装前にサンドペーパー(#120~180)で目粗しすることをお勧めします。メンテナンスがしやすいHLSeがオススメです。家具調の仕上がりで耐久性重視であれば「セトールデッキ」、滑り止めを付けるなら「セトールデッキプラス」を推奨します。

Q. 18 「レッドシダー」におすすめの塗料はありますか？

A: 基本的に、いずれの塗料も使用できます。ラフゾーンと呼ばれる粗びきした面を外側に向けて使用する場合、その保護塗装にはHLSeがオススメです。木材に深く浸透して、塗膜も殆ど形成しないのでラフゾーンの素材感を引き立てます。塗料がたっぷりしみ込むので耐候性も抜群です。

Q. 19 シッケンズ以外の商品の下地に塗れますか？

A: シッケンズを塗装した木材に他社の塗料を塗装することはあまりオススメできません。やむを得ず塗装する場合は、弱溶剤系・水性系で造膜するタイプであれば概ね可能です。2液ウレタン等は溶剤分が強いので使用できません。また、浸透系の塗料もシッケンズの塗膜に遮られるため△

Q. 20 水性ウレタン塗装の上にシッケンズ塗料は塗れますか？

A: ウレタン塗膜によりシッケンズの浸透性、定着がしにくい傾向がありますので、できるだけ除去して塗装して下さい。逆にシッケンズを塗装して数日乾燥した上から水性ウレタンの塗装は可能です。

Q. 21 16時間乾燥させたが「ぺたぺた」としている。どうしたらいいですか？ 乾燥時間短縮させる方法ないですか？

A: シッケンズの塗膜は、ウレタン系と異なり木材に追従するため柔軟性が高い塗膜です。
乾燥後も少しタック(ペトつき)がのこる場合がございます。時間経過で徐々に硬化はしていきます。
また、塗装後の気温が低いなどで乾かない場合は待つしかありません。

Q. 22 ツヤを消す方法はありませんか？

A: 上塗りでツヤを消すのは難しい為、あえて表面を研磨して頂くか、経年で光沢が落ちるのを待つ頂くしか方法はありません。他社塗料のツヤケシを上から塗装可能であればそれも一案ですが、相性などについては事前にご確認をお願い致します。

Q. 23 シッケンズ専用の「パテ」はありますか？ おすすめの商品があれば教えて下さい。

A: シッケンズ専用のパテは特にラインナップがございません。市販の木部用パテ(ラッカー系、水性)でOKです。
下地(基材)と似た色を推奨します。パテが良く乾いてから塗装してください。(塗装しても多少は目立ちます)

Q. 24 家具(室内)に屋外用塗料を使用しても問題ないですか？ 屋内用塗料を屋外に塗れますか？

A: 工場で塗装したものを現場で取り付ける場合は、「F☆☆☆☆」規制対象外になります。
お施主様の臭いに対するご理解があればご使用は可能です。※現場塗装の場合は4F製品ではない旨も確認して下さい
屋内用の塗料は防腐防カビ剤が配合されていないため、屋外での使用はできません。(早期に劣化脱落します)

Q. 25 「BLデコール(屋内用)」の上にクリアーを塗装する必要はありますか？

A: 床面やカウンターなどの摩耗する箇所にお使いの場合は水性フローアを上塗りすることを推奨します。
壁、天井、造作関係などはBLデコール単独の仕上げて問題ございません。

Q. 26 風呂場に使える塗料はありますか？

A: 浴室対応は残念ながら困難ですが、脱衣所等であれば「水性フローア」で対応可能です。

Q. 27 シッケンズを塗装後、カビが発生した。補修方法があれば教えて下さい

A: 塗装表面に発生している場合は乾いた布で擦るとある程度取れます。塗装内側に発生したものは
軽く研磨して、カビ取り剤(ミヤキ社カビスケ推奨)を使って除去します。その後、塗装を上塗りしてください。

Q. 28 着色系塗料を塗ったが、予想より濃い仕上がりになった。色を薄める方法はありませんか？

A: 塗装の仕上がりが濃い場合は薄くすることは困難です。一度研磨して除去するなどになります。
クリアーのある製品でしたらクリアー色と混ぜて色を薄くして塗装する方法があります。
あるいは塗料用シンナー(油性塗料)、水(水性塗料)で薄めるなどです。
1回目塗装で濃いと感じた場合には2回目、3回目を薄めのカラーで調整するなどが可能です。

Q. 29 「デッキ」への塗装に最適な商品はありませんか？ デッキ面に塗装可能なクリアーはありますか？

A: ウッドデッキ用としては、HLSe、デッキ、デッキプラスの3種類が使用できます。
HLSeはバランスが取れている塗料で、標準的な耐久性ですがメンテナンスはしやすいというメリットがあります。
デッキ、デッキプラスは塗膜を厚めにつける高耐久仕様ですが、「ナチュラル」I色のためHLSeで調整します。
濃くする場合は、HLSeの濃いめのカラーを2回程度塗装してその上にデッキ、デッキプラスを塗装します。
薄くする場合は、下塗りのHLSeのクリアーを使います。デッキプラスは滑り止め機能があります。

Q. 30 船の「デッキ」には、どの商品がおすすめですか？

A: セトールデッキ、またはセトールデッキプラス(防滑希望の場合)がオススメです。
紫外線が強烈な為、HLSeよりも保護効果の高い製品を推奨します。仕上がりも高級感があります。

Q. 31 「セトールTGL」は、他の商品に上塗りできますか？(相性の悪い塗料はありますか？)

A: セトールTGLに上塗りできる製品は、「HLSe」あるいは「ノバテック」になりますが、
基本的に浸透系の着色の方が良いのでHLSeを推奨します。他は塗膜形成タイプはTGLの上塗りに適しません。

Q. 32 ログハウスにおすすめの商品はありますか？

A: ログハウスの新規塗装の場合は「HLSe」または「ノバテック」が適しています。

HLSeは、木肌感を生かして落ち着いた仕上がりになります。ノバテックは、柔軟な塗膜で高い耐久性があり、ノバテックは、柔軟な塗膜で高い耐久性があり、少しツヤを持たせることができます。

メンテナンスの場合、既存がHLSeならばHLSe、Filter7プラス、ノバテック、BLXproが使えます。

既存がノバテックであれば、ノバテック、Filter7プラス、BLXproが使用できます。

Q. 33 塗りつぶしタイプの商品はありませんか？

A: 現在のシッケンズのラインナップには塗りつぶし製品はございません。「DSA」という白のペンキタイプの製品がございますが、粘土が高く売り先が限定的なので一般的にはオススメが難しいです。

Q. 34 塗料の保存方法について教えてください。塗料が固まった場合はどうしたらいいですか？

A: 使いかけの塗料はしっかり蓋をして冷暗所で保管してください。たまに缶を振って頂くなどで多少長く持ちますが、開封した塗料は硬化しやすくなるため、できるだけ早めの使用を推奨します。

固まってしまった状態が液面に膜が張った状態（皮張り）であれば皮を取り除いての使用可能です。

ゲル状になっていたり、完全硬化した場合は使用できません。

細かいブツが残る程度であれば、濾過して使える場合もございます。（塗装～乾燥が問題ないか要確認）

Q. 35 調色をお願いしますか？

A: 誠に申し訳ございませんが、弊社では調色の対応を行っておりません。

現場等で同じ製品同士を混ぜ合わせてご使用頂くことは可能です。

【例:006（ライトオーク）を少し薄めたい→006と000（クリアー）を混ぜる 等】

Q. 36 ヴェステックの木製サッシのメンテナンスについて教えてください。

A: ヴェステックの木製サッシのメンテナンスについても、劣化の状況に応じて塗装回数が異なります。

三井ホーム様物件の場合は、仕様がありますので、その仕様に沿って塗装仕様を決めます。

昔の呼称:ダークブラウン← カスタムブラウン色: HLSe 010(ウォールナット)+020(エボニー)【50:50】×2回+Filter7プラス 010×1回

昔の呼称:ライトブラウン ← ダークオーク色 : HLSe 009(ダークオーク)×2回+Filter7プラス 009(ダークオーク)×1回

傷みの程度が低ければ上記の上塗りの部分だけで良いと思われます。

Q. 37 「ダークブラウン」とは何色ですか？

A: ダークブラウン(ライトブラウン)は三井ホーム様の独自の呼称になります。

三井ホーム様のご物件の場合に該当しますが、木製サッシと外構で塗装使用が異なります。

初期仕様:「木製サッシ」－ ライトブラウン=HLSe 009×2回+F7P 009×1回

初期仕様:「木製サッシ」－ ダークブラウン=HLSe 010+020(50:50で混合)×2回+F7P 010×1回

初期仕様:「外構部材(付梁・付柱)」－ ライトブラウン=HLSe 006×3回

初期仕様:「外構部材(付梁・付柱)」－ ダークブラウン=HLSe 010×3回

※メンテナンスの場合は、劣化の状況に応じた塗装回数や色の選定をオススメします。

※書式の都合上、商品名を一部省略して記載しております。ご了承下さい。

「セトールHLSe」→「HLSe」 / 「セトールFilter7プラス」→「Filter7プラス」

「セトールデッキ」→「デッキ」 / 「セトールデッキプラス」→「デッキプラス」

「セトールノバテック」→「ノバテック」 / 「セトールTGL」→「TGL」

「セトールBLXpro」→「BLXpro」 / 「セトールBLデコール」→「BLデコール」